恨

〔倭訓栞前編四字〕うらやむ　羨をよめり、日本紀に嫉をもよみ、新撰字鏡に怏もよめり、裏病の義也、うらは心裏をいふ、靈異記に妬忌をうらやましともいふ、まし反み也、

〔日本靈異記上〕人畜所履髑髏救收示靈表而現報緣第十二

萬呂恠而問之、答、昔吾與兄共行交易、吾得銀卌斤許、時兄妬忌殺我取銀、○中略

妬忌○二合、于良ヤマシ、

〔日本靈異記中〕恃己高德刑賤形沙彌以現得惡死緣第一

有嫉妬人讒天皇○聖武奏、長屋謀傾社稷、將奪國位、○中略

嫉妬○二合、ウラヤミ、

〔伊勢物語上〕むかし男有けり、京に有わびて、あづまにいきけるに、いせおはりのあはひの海づらをゆくに、なみのいとしろくたつをみて、

いとゞしく過ゆくかたのこひしきにうら山しくもかへるなみかな、となんよめりける、

〔源氏物語七紅葉賀〕くれぬれば、みすの内に入給を、うらやましく、むかしはうへの御もてなしに、いとけぢかく、人づてならで、物をもきこえ給ひしを、こよなううとみ給へるも、つらくおぼゆるぞわりなきや、

〔類聚名義抄六心〕怨於願反和ヲシ　○○○ウラム　怨古　㤼古　怳怨俗　惋於遠反音腕ウラム　憾憾胡感反ウラム　怊

怊音超ウラム　惆俗　怊悵恨字　怒諾古反ムラム　悵丑亮反ウラム　恨音艮ウラム　悄悁一全又焉玄反ウラム　悄忪千小反ウラム　惣ウラム　憺或　愁音秋ウラウ　愇古偉字ウラム　悽十奚反ウラム

〔伊呂波字類抄宇人事〕恨ウラミウラム　憂怨　悵憾憾　悄　慯　汗　懟　嫉　偉　忌　惣　忿

畔　憖　悽　悰　殆　澄　浠　懃　惋　服　愁　猜　悶　望　愿　君　讎　岑　憎已上ウラム